

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 64-029240

(43)Date of publication of application : 31.01.1989

(51)Int.Cl.

A47K 4/00
E03D 11/12

(21)Application number : 62-187456

(71)Applicant : MICHIO KOGYO KK

(22)Date of filing : 27.07.1987

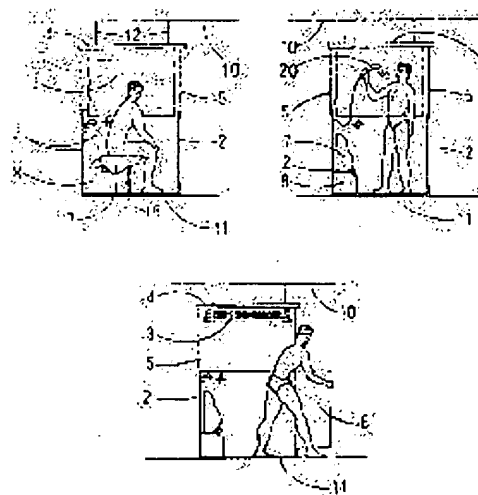
(72)Inventor : TONOO YOSHIHIRO

(54) FOLDING SHOWER TOILET

(57)Abstract:

PURPOSE: To allow the change of a size and effectively utilize space by surrounding the space with a freely telescopic wall, and laying a folding toilet, a hydrant, a feedwater hose and a shower nozzle in the space.

CONSTITUTION: A spandrel wall panel 2 is erected on a waterproof floor 11 and a telescopic wall 3 suspended from a frame 4 is laid on the spandrel wall panel 2. In this case, the frame 4 is held in such a state as suspended from the ceiling of a vehicle with a cord, or fastened to the spandrel wall panel 2. A folding toilet 7 is provided in a lavatory and the rear part of the toilet 7 is connected to a rotary shaft laid on a drainage basin 8 to receive drain from the toilet 7. Also, the toilet 7 is held on the floor 11 via a folding leg 16. In addition, when the lavatory is used as a shower room, the toilet 7 is rotated and inverted on the basin 8 for the use of a shower nozzle 20. For access to and from the lavatory, the telescopic wall 3 is contracted upward and the door 6 of the spandrel wall panel 2 is opened.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

⑫ 公開特許公報(A)

昭64-29240

⑮ Int. Cl.

A 47 K 4/00
E 03 D 11/12

識別記号

庁内整理番号

6434-2D
8503-2D

⑭ 公開 昭和64年(1989)1月31日

審査請求 有 発明の数 1 (全2頁)

⑬ 発明の名称 折りたたみ式シャワートイレ

⑯ 特 願 昭62-187456

⑰ 出 願 昭62(1987)7月27日

⑱ 発 明 者 殿 尾 佳 弘 大阪府枚方市山之上西町14番10号

⑲ 出 願 人 三智工業株式会社 大阪府大東市御領2丁目1番47号

明 細 書

1. 発明の名称 折りたたみ式シャワートイレ

2. 特許請求の範囲

伸縮自在な壁で囲まれたシャワー室であって
その内部に、折りたたんで、水平投影面積を小
さくし得る水洗便器と、給水栓、給水ホース、
シャワー用ノズルを装備したことを特徴とする
折りたたみ式の化粧室。

3. 発明の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本発明はバス、キャンピングカーなどの乗り物
内に設ける化粧室に関する。

〔従来の技術〕

従来乗り物内に設けている化粧室は固定式であ
り乗り物内で一定の場所を占めて設置されている。

〔発明が解決しようとする問題点〕

一般に乗り物内はスペースが狭く、室内空間の
有効利用が望まれているが、化粧室を乗り物内に
設けると、そのためのスペースをとられるため、
利用空間が制約される。そこで化粧室を複数の用
途に利用し、使用しないときは化粧室を折りたた
んで縮小し、乗り物内のスペースを有効に利用し
たいと言う要求がある。

本発明は、そうした要求に答える化粧室を提供
するものである。

〔問題点を解決するための手段〕

化粧室内に折りたたみ式の便器を備え、便器を
使用しないときには折りたたんで壁際に寄せて、
便器の水平投影面積を縮小したうえでシャワー室
として利用するようにし、化粧室の壁を伸縮自在
の構造として、化粧室を使用しないときには壁を
縮めて化粧室を小さくする。

〔作用及び効果〕

1.化粧室内の便器を開いて便所として利用し、便器を折りたたんでシャワー室として利用出来る。

2.化粧室の壁を伸縮することにより、化粧室の大きさを変化させ、スペースを有効に利用することが出来る。

〔実施例〕

図によって説明すれば、図は本発明の実施の態様を示し、第1図は本発明にかかる化粧室を便所として使用している状態を示す断面図であるが、図において防水床 11 の上に壁パネル 2 を立設し、その上にフレーム 4 から吊り下げた伸縮壁 3 を設ける。

フレーム 4 は車両の天井 10 から柱 12 で吊りおく場合と、柱 5 によって腰壁パネル 2 に止着する場合のいずれかによって支えられる。

化粧室 1 の内部には折りたたみ式の便器 7 を設け、便器からの排水を受ける排水受け槽 8 の上に設けた回転軸 15 に便器の後部をとりつけ、折りたたみ脚 16 によって便器 7 を床 11 上に支える。

第2図は便器 7 を折りたたんで、シャワー室として使用している状態を示し、図のように便器 7 を回転軸 15 のまわりに回転させて排水受け槽の上に倒立させ、シャワーノズル 20 を用いて化粧室をシャワー室として使用する。

化粧室への出入りに際しては第3図に示すように伸縮壁 3 を上方に締め、腰壁パネル 2 に設けた扉 6 を開いて出入りする。

本実施例において伸縮壁 3 は布、ビニルクロス、人工皮革などの膜状体を用いて形成しておく。

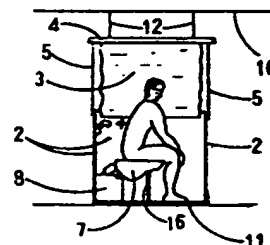
化粧室 1 を使用しないときには、第4図に示すように伸縮かべ 3 を縮めてフレーム 4 に紐で縛り付け、フレーム 4 を下に下ろし、腰壁パネル 2 の上に載せかける。

本実施例は、上下に伸縮する場合を示したが、別の例として水平方向に伸縮させる場合もある。

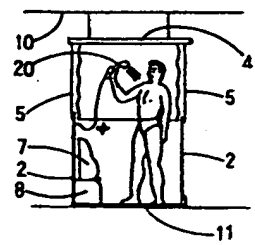
4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明化粧室を便所として使用している状態を示す断面図、第2図は本発明化粧室をシャワー室として使用している状態を示す断面図、第3図は本発明化粧室に出入りする状態を示す断面図、第4図は本発明化粧室を折りたたんだ状態を示す断面図である。

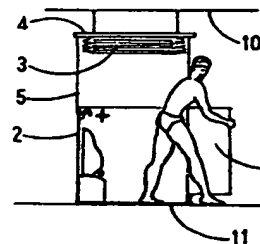
- | | |
|-----------------|----------------|
| 1-----化粧室、 | 2-----腰壁パネル、 |
| 3-----伸縮壁、 | 4-----フレーム、 |
| 5-----柱、 | 6-----扉、 |
| 7-----折りたたみ式便器 | |
| 8-----排水受け槽、 | |
| 10-----天井、 | 11-----防水床、 |
| 15-----回転軸、 | 16-----折りたたみ脚、 |
| 20-----シャワーノズル、 | |



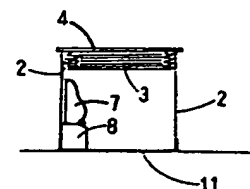
第1図



第2図



第3図



第4図

出願人 三智工業株式会社
代表取締役 殿尾佳弘